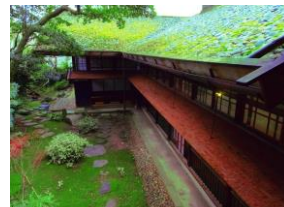


1 現状を示す資料

文化芸術施設の現状	58
鶴岡市の芸術文化事業	63
歴史・文化資源	69



2 活動する人・参加する人の声と計画への反映



グループトーク・アンケートの実施	72
主な意見のまとめ	74
アンケートのまとめ	76
基本方針と方向性への反映	80
検討課題 1 駐車場の活用	82
検討課題 2 施設の利活用	83

3 鶴岡の文化芸術の方向性を語る

講話/パネルディスカッション(PD.) 「つるおか文化部ミーティング」	85
講話 鶴岡の文化芸術の方向性を見つめて	86
PD1. 文化芸術を活かした地域づくり	92
PD2. 文化芸術と子どもたち	100
PD3. アーティストと研究者のまなざし	108



1 現状を示す資料

文化芸術施設の現状

文化芸術の振興には、活動を支える施設が重要になってきます。市内には、地域の実情に応じて練習や発表の場所として活用される規模のものから、全市を対象に公演や発表が行われる大規模なものまで、様々な施設があります。コロナウイルスの影響が出る前までは来館者数や催し物の開催数は横ばいが続く施設が多くありました。

また、市内には、民間の施設も含めてテーマに特化した展示施設や情報交流施設も数多くあり、中には文化財指定を受けた施設を公開して活用している事例もあります。

今後はこれらの施設で専門的な知見をもった職員も活用しながら、相互の情報共有や活動連携も重要になってきます。市内の主な施設とその利用状況は次のとおりです。

(1) 鶴岡市文化会館「荘銀タクト鶴岡」

平成30年3月にグランドオープンした劇場で、1,120席の大ホールのほか、180人を収容できる小ホール、練習室などを備え、質の高い公演や、市民の発表の場として活用されています。自主公演や貸館事業を含めた、文化芸術の拠点としての機能が期待されています。

・利用状況

年度		H30	R1	R2
自主事業	件数	12	14	10
	スタッフ数	1,618	1,067	697
	入場者数	16,205	12,,672	2,319
貸館事業	件数	209	147	168
	スタッフ数	22,267	16,179	9,998
	入場者数	66,889	44,095	29,615
件数合計		221	161	178
利用者計(スタッフ+入場者)		106,979	74,013	42,629

(2) 鶴岡アートフォーラム

平成17年8月に開設した展示施設で、企画展のほか市内の美術団体等の発表の場として利用されています。市民の創作活動を支援するアトリエや、子供向けのキッズアトリエ、創作講座なども開催し展示系の拠点施設としても活用されています。

・利用状況

年度		H28	H29	H30	R1	R2
自主事業 (展示・講座)	件数	29	24	24	24	21
	人数	22,829	20,598	26,917	23,369	12,862
貸館事業 ギャラリー	件数	27	44	39	44	42
	人数	28,329	31,708	27,243	27,832	24,241
件数合計		56	68	63	68	63
人数合計		51,158	52,306	54,160	51,201	37,103

(3) 公民館

○中央公民館

施設の主催事業や利用者の自主的なサークル活動の場として、文化芸術活動でも広く利用されています。新春文化展や文化祭で発表、展示の機会を設け、利用者同士の交流も盛んです。近年、利用者数は横ばいから微減傾向にあり、芸術文化・サークル等の利用状況と併設する女性センターの利用者数は下記のとおりです。

・利用状況

年度		H28	H29	H30	R1	R2
利用回数(合計)		3,477	3,017	3,152	3,153	2,040
利用人数(合計)		114,668	93,403	78,709	77,213	31,174
うち芸術文化・ サークル等	回数	1,915	1,734	1,745	1,638	1,043
	人数	45,181	42,919	33,569	33,319	13,215
女性センター 利用人数		11,334	9,543	10,102	10,103	6,916

○櫛引生涯学習センター（旧櫛引公民館）・温海ふれあいセンター（温海地域）

櫛引地域、温海地域では、社会教育施設として次の二つの施設が利用されています。

・利用状況（櫛引生涯学習センター）

年度	H28	H29	H30	R1	R2
利用回数(合計)	860	970	959	905	628
利用人数(合計)	25,008	22,960	20,403	17,222	12,869

・利用状況（温海ふれあいセンター）

年度	H28	H29	H30	R1	R2
利用回数(合計)	801	764	850	734	863
利用人数(合計)	17,816	15,612	16,694	10,225	15,137

(4) 図書館（本館・分館）・郷土資料館

本館のほか、地域庁舎ごとに五つの分館があります。

各館が連携した図書サービスを行っているほか、子どもや青少年の読書活動推進のための事業も数多く実施しています。子ども向け、大人向けのボランティア活動も盛んです。

本館内の郷土資料館では、郷土史の調査・研究のための資料収集を行っているほか、展示などを通して郷土への理解を深める事業を行っています。

・利用状況（総貸出数）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R2 蔵書数
本館	361,472	359,674	365,226	368,541	294,109	276,737
藤島分館	17,930	20,708	19,943	20,452	17,724	28,037
羽黒分館	12,516	16,092	18,006	20,458	19,289	20,464
櫛引分館	14,612	15,403	17,133	19,004	17,063	30,100
朝日分館	8,686	7,742	9,038	9,232	8,784	33,202
温海分館	18,649	19,543	20,594	20,612	19,778	19,814
合計	33,865	439,162	429,367	439,295	376,747	408,354

参考：本館の開架冊数：約 75,000 冊。

(5) 地域コミュニティセンター・活動センター等

主に旧小学校区ごと、または旧町村のエリアごとにホールや講座室を備えた施設があります。地域住民の文化芸術活動の拠点となっているほか、地域特性を活かした事業や伝統行事の継承などに活用されています。

(6) テーマに特化した施設

市内には、鶴岡市出身で全国的な知名度のある人物や習俗、芸能、産業などを紹介する施設があります。これらの施設には、そこにしかない文化資産を求めて訪れる人も多く、情報発信を工夫したり、魅力的な展示を継続したりすることで、今まで以上に交流人口の拡大につながる可能性があります。また、建物が文化財の指定を受け、展示を行いながら保存活用している施設もあります。

施設名	地区	施設概要
藤沢周平記念館	鶴岡	鶴岡市出身の時代小説家、藤沢周平氏の作品世界と生涯を紹介。
大寶館		大正天皇の即位を記念して建てられた鶴岡公園内の洋風建築。現在は郷土人物資料館として利用。
旧致道館		藩校建築として現存するものは東北で唯一。内部に藩校時代の教科書や歴史資料を展示。
東田川文化記念館	藤島	旧郡役所と議事堂に地域の歴史資料などを展示。議事堂はホール、図書館としても活用。
いでは文化記念館	羽黒	出羽三山文化と修験の世界を学び、体験し、未来へ伝える拠点。
松ヶ岡開墾場		明治維新後、藩士たちが開拓し養蚕を行った際の蚕室5棟が現存。一部を記念館として利用。
王祇会館	櫛引	「黒川能」を広く紹介する展示機能と、交流・生涯学習機能を併設。
柏戸記念館		第47代横綱「柏戸」の偉業を顕彰。旧鏡山部屋の稽古土俵と上がり座敷を移築し、伝統様式の相撲部屋を復元。
旧日向家住宅		江戸末期の武家住宅を一般公開しながら、丸岡城跡史跡公園のガイダンス施設として活用。
タキタロウ館	朝日	伝説の巨大魚「タキタロウ」を紹介する資料展示や登山情報を提供。
旧遠藤家住宅		江戸後期建築と推定される「兜造り」の多層民家。
関川しな織センター	温海	しな織製品の展示・販売や製作工程を紹介。要予約で制作体験にも対応。

(7) 特色ある民間施設

市内には、民間で開設した博物館や展示施設などもあります。文化財や古い建物を利用した施設もあり、巡回展や市民の発表の場、個人美術館として公開され、観光の拠点施設となっているところもあります。また、建物そのものが文化財の指定を受けているものもあり、展示を行いながら、保存活用が図られています。

施設名	利用形態	地区
致道博物館	展示	鶴岡
旧風間家住宅 丙申堂	展示	
風間家旧別邸 無量光苑 釈迦堂	(展示)	
荘銀本店ホール	公演	
出羽の雪酒造資料館	展示	
出羽三山歴史博物館	展示	羽黒
羽黒・芸術の森 今井アートギャラリー	展示	



文化芸術施設の現状

- ◇公演、発表、練習や展示機能を担う施設は全市を対象にした大規模なものから、主に地域の人を対象にした規模のものまで様々な施設がある。
- ◇図書館は本館と分館が連携しながら図書サービスを提供している。
- ◇テーマに特化した施設は歴史的な背景も踏まえ、貴重な歴史文化資料を保存する施設として、またそれらを活用した情報発信や交流の場として機能している。

計画の中での方向性

- ◆文化芸術活動を担う施設は、市民の活動の拠点として連携や機能強化が求められている。
 - 基本方針2 多様な文化芸術の創造と発展を目指します
- ◆テーマに特化した施設は、関係の深い分野との連携や新たな活用の検討が必要。
 - 基本方針1 伝統的な文化芸術の継承と活用に努めます
 - 基本方針3 文化芸術の根づいた活力ある社会をつくります

鶴岡市の芸術文化事業

市内で活動する芸術文化団体や発表の場となる芸術祭は、参加人数や団体数は横ばいの傾向が続いていますが、最近では既存の団体とは別に活動を続ける人も多くいると思われ、情報共有や連携が課題となっています。市が関わる育成事業や表彰事業、教育の中での文化芸術活動は様々な活動が行われていますが、新たな展開を検討することも重要と考えます。

主な活動事業は次のとおりです。

(1) 特定非営利活動法人鶴岡市芸術文化協会

市内の65の芸術文化団体と五つの地域協会、3,470人が加盟する市の芸術文化活動の中核を担う組織です。平成28年には法人化され法的な基盤が整い、活動の幅を拓けています。芸術祭の開催のほか、令和元年度から鶴岡市の「子ども文化クラブ事業」を受託し、地域の子どもたちへの技能や知識の継承にも力を入れています。また、令和3年度からは鶴岡市開発公社と共に、荘銀タクト鶴岡の指定管理を担い、自主事業の企画立案、市民サポーター制度の運用など、専門性の高い事業にも参画しています。

○鶴岡市芸術文化協会 会員内訳

1. 地域芸術文化協会

藤 島	藤島芸術文化協会
羽 黒	羽黒芸術文化協会
櫛 引	櫛引芸術文化協会
朝 日	朝日芸術文化協会
温 海	温海芸術文化協会

2. 部門

部 門	内 訳	団 体 数
文芸部門	短歌、俳句、詩、創作等	4
美術部門	絵画、版画、書道、写真、彫塑、工芸、手芸、園芸等	11
邦楽部門	能、琵琶、箏曲、尺八、大正琴、長唄、小唄等	8
日舞部門	古典舞踊、新日本舞踊等	3
民謡・民舞部門	民謡、民舞、新舞踊等	2
吟詠部門	詩吟、剣扇舞等	3
民俗芸能部門	民話、神楽、民俗文化等	1
洋楽部門	合唱、吹奏楽、軽音楽等	11
洋舞部門	洋舞踊	3
演劇部門	演劇	3
茶道部門	茶道	4
華道部門	華道	7

(2) 芸術祭

鶴岡市芸術文化協会と鶴岡市教育委員会の共催で毎年9月から12月に、協会所属の各団体が公演・展示等を行います。市内最大の芸術文化の祭典であり、大賞、優秀賞など表彰も行い、各団体の研鑽と交流の拡大に貢献しています。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため、芸術祭が中止となりましたが、非加盟団体にも参加を呼びかけ、「鶴岡市芸術フェスタ」を開催しています。

年度	鶴岡市芸術祭				県民芸術祭	
	参加公演数	参加団体数	参加者数	入場者数	参加公演数	参加団体数
H28年度	45	55	3,351	23,129	29	38
H29年度	42	52	3,266	22,688	27	35
H30年度	40	49	3,223	24,782	26	34
R1年度	42	51	3,070	24,309	28	36
R2年度	鶴岡市芸術フェスタ 10月25日(日) 荘銀タクト鶴岡 出演団体 36団体(芸術文化協会加盟団体14 非加盟団体22) 入場者数 のべ828人					

(3) 地域文化祭

合併前の町村エリアごとに、地域の芸術文化協会が市と共催で実施しています。

展示やステージ発表のほか、小中学生の絵や書の展示もあり、文化芸術に親しんだ成果を身近な場所で発信し、地域の交流を深める場ともなっています。

年度	藤島		羽黒		櫛引		朝日		温海	
	参加者数	入場者数	参加者数	入場者数	参加者数	入場者数	参加者数	入場者数	参加者数	入場者数
H28年度	489	2,470	949	800	698	1,111	1,193	2,250	891	2,250
H29年度	517	2,270	1,062	740	664	1,287	1,213	2,100	644	2,250
H30年度	522	2,605	1,005	920	694	1,451	1,439	1,800	703	2,250
R元年度	693	2,600	1,013	870	665	1,659	1,318	1,700	553	1,400
R2年度	183	949	876	453	478	997	897	600	631	1150

(4) 市が関係する育成事業

関係団体や一般の方の協力で資金の運用を行っている「芸術文化振興基金」では、青少年の育成を目的に、市内の吹奏楽部等の児童・生徒を対象にした楽器講習会を開催しています。また、合唱の指導者を招いて2年に1度開催している「サテライトセミナー」では、市内の合唱団が国内外で活躍するプロの指導者から発声や表現方法を学び、レベルの向上を図っています。

このような取り組みの成果もあり、過去5年間に地区予選を経て全国大会に出場した市内の文化芸術団体は次のとおりとなっています。

○地区予選を経て全国大会に出場した団体（過去5年）

年度	大会名 「団体名」
H28	NHK 全国学校音楽コンクール全国コンクール出場「鶴岡北高校」
	日本管楽合奏コンテスト全国大会出場「羽黒高校」
	全日本合唱コンクール全国大会出場「鶴岡土曜会混声合唱団」
	第19回日本太鼓ジュニアコンクール出場「念珠関辨天太鼓子供会」
H29	NHK 全国学校音楽コンクール全国コンクール出場「鶴岡北高校」
	東日本学校吹奏楽大会出場「鶴岡東高校」
	全日本合唱コンクール全国大会出場「鶴岡北高校」
	日本管楽合奏コンテスト全国大会出場「羽黒高校」
	全日本合唱コンクール全国大会出場「鶴岡土曜会混声合唱団」
H30	全日本合唱コンクール全国大会出場「鶴岡土曜会混声合唱団」
R1	東日本学校吹奏楽大会出場「鶴岡東高校」
	日本管楽合奏コンテスト全国大会出場「鶴岡東高校」
	全日本合唱コンクール全国大会出場「鶴岡土曜会混声合唱団」
R2	日本管楽合奏コンテスト全国大会出場「鶴岡東高校」
	日本管楽合奏コンテスト全国大会出場「鶴岡工業高校」

(5) 表彰制度

○高山樗牛賞

庄内の生んだ明治の文豪高山樗牛の偉業を顕彰し、地方文化の向上に貢献するため、昭和33年から続く表彰制度です。本賞は庄内地方に居住し、文芸・評論・作文等の制作事績において著しく地方啓発に功績があり、又は極めて優秀な作品の発表を行った方を表彰します。

奨励賞は庄内地方に在籍する小・中学校及び高等学校の児童・生徒で文芸・評論、作文等において優秀な作品の発表を行ったものを表彰しています。

高山樗牛賞・奨励賞 受賞実績 昭和33年～令和2年

高山樗牛賞（一般の部）	58人
高山樗牛賞 小中学校の部・高等学校生徒の部 (昭和33年～平成14年)	個人…1人 学校新聞…12校 学校文集…20校 文芸部文芸誌…1校
高山樗牛賞 奨励賞（平成15年～令和元年）	小学生…23人 中学生…6人 高校生…1人

○上野甚作賞

大正から昭和にかけて活躍した歌人であり、地域の短歌の普及にも貢献した上野甚作の功績を記念して昭和34年から図書館で「上野甚作賞」を創設し、毎年短歌作品を募集し、表彰しています。

上野甚作賞 受賞実績

		H28	H29	H30	R1	R2
小・中・ 高校生	応募数	535	748	769	532	572
	入選数	28	27	25	24	25
一般	応募数	58	70	50	56	47
	入選数	6	5	5	5	4

○土田竹童顕彰全国俳句大会

○羽黒山全国俳句大会

(6) 小学校・中学校

市内には26の小学校と11の中学校があり、音楽交流会など市内の学校の交流事業も長く続いています。また、小・中学校は地域の伝統芸能や行事を授業に取り入れるなど、地域資源との結びつきが強いのも特徴です。

藤島地域の獅子踊りや、櫛引東小学校の黒川能など、地域の伝統行事を学校の授業にも取り入れ、活動している学校もあります。しかし子供の数の減少や学校の統合が進み、地域と連携しながら行ってきた活動の見直しも進んでいます。

○小・中学校と地域資源とのかかわりの例

朝陽一小～六小	天神祭パレードへの参加 天神祭について調べる (二小)
上郷小	学区探検の成果を地域の文化祭で発表
大山小	「いざや巻」(地域に伝わる舞踊)の伝承
鶴岡五中	大山犬祭り「やっこ振り」の伝承
東栄・渡前小	藤島地域に伝わる獅子踊りの伝承
羽黒小	地域の暮らし、伝統文化の学習
櫛引東小	黒川能の謡・仕舞・和楽器の練習・発表
あさひ小	六十里越街道を歩く
朝日中	朝日元気プロジェクト(観光資源の活用など)
あつみ小	赤カブの栽培と収穫 シナの木皮はぎ体験

参考：各学校 学校経営概要ほか

(7) 高等学校

市内には分校を含め、8校の高校があります。毎年冬には高校生アートフォーラム展が開催され、市内の高校の文化芸術系の活動を合同で紹介しています。合唱や吹奏楽は、全国大会へ出場する団体もあり、地域の音楽団体のレベルの向上にも貢献しています。

鶴岡の絹文化の魅力をPRするシルクガールズ(鶴岡中央高校)や、天神祭への吹奏楽部・書道部の参加、美術部がイベントのグッズデザインを行うなど、地域のイベントに高校生の文化芸術活動が関わる事例も増えてきています。

○高校生の文化芸術活動の例

高校生 アートフォーラム展	鶴岡田川地区の高校の文化部の生徒たちの発表 美術、工芸等の展示のほか合唱、吹奏楽、演劇、 茶道など高校生の文化芸術活動を幅広く紹介
シルクのちから	シルクを使った菓子の開発、 ドレスの制作とファッションショーの実施
青少年 ステージパフォーマンス	次世代の担い手となる高校生の生きる力、作り上 げる力、発表する力の三つの力をはぐくむことを 目的として高校生の活力を広く一般市民に発表 する文化イベント。対話発表、太鼓・吹奏楽演奏、 書道パフォーマンスなど
天神祭 パレード参加	各校の吹奏楽部などがパレードに参加



鶴岡市の芸術文化事業の現状

- ◇既存の活動団体は、芸術祭や地域文化祭などを発表の場としている。
- ◇育成事業は、音楽や文芸を中心に展開されている。
- ◇小中学校では、音楽や美術といった教科の活動のほかに、地域の特長を活かした活動も展開されている。
- ◇高等学校では、高校生アートフォーラム展などで一般向けにも広く活動の成果を発表している。地域の独自資源を活用した事業やイベントへの参加も多い。

計画の中での方向性

- ◆活動する人や団体を新たに取り込んでいきたい。
- ◆既存団体と新しい団体との連携や関係の深い分野との連携も考えたい。
- ◆新たな育成事業も進めたい。
 - 基本方針2 多様な文化芸術の創造と発展を目指します
 - 基本方針3 文化芸術の根づいた活力ある社会をつくります

歴史・文化資源

市内には大切に受け継がれてきた文化財や文化資源が数多くあります。これらは、伝承されてきた地域の人口減少や高齢化も進む中で、その保存と活用にも関心が高まっています。

(1) 文化財

文化財の中でも、国宝の羽黒山五重塔や重要文化財、史跡、名勝などに指定された建造物や庭園は観光資源としての魅力も備え、多くの観光客が訪れています。

近年は国の登録文化財制度の登録を受けて、これまで通り利用しながら保存・活用を図る建造物も増えてきました。

無形民俗文化財の指定を受けている黒川能や羽黒山の松例祭 大松明行事など伝統的な祭礼も地域の人たちによって大切に受け継がれてきました。

市民の有志で結成された文化財愛護協会では、文化財の保存と活用を図るとともに、市の補助を受けて、標柱や説明版の設置・修理を行うなど、地域に根差した活動を行っています。

(1) 指定文化財（令和3年4月1日現在）

①国指定（文化財保護法によるもの）

区	分	件数	備考
有形文化財	国宝	建造物	1 羽黒山五重塔
		工芸品	2 太刀 2口 「銘信房作」、「銘真光」
	重要文化財	建造物	9 水上八幡神社本殿、羽黒山正善院黄金堂、旧西田川郡役所、旧渋谷家住宅、鶴岡カトリック教会天主堂、羽黒山三神合祭殿及び鐘楼、旧風間家住宅、金峯神社本殿、旧鶴岡警察署庁舎
		絵画	1 絹本著色「王昭君図」
		彫刻	1 銅造如来立像
		工芸品	7 銅燈籠竿、短刀「銘吉光」、色々威胴丸、銅鉢、梵鐘、能装束3領
		書跡	1 禅院額字「潮音堂」
		考古資料	1 銅鏡「羽黒山御手洗池出土」
	民俗文化財	重要無形民俗文化財	2 黒川能、松例祭の大松明行事
重要有形民俗文化財		8 庄内のぼんどりコレクション 116点 庄内の木製酒器 " 77点 庄内の仕事着 " 126点 大宝寺焼 " 234点 庄内及び周辺地のくりもの " 250点 庄内浜及び飛島の漁撈用具 1,937点 最上川水系の漁撈用具 810点 庄内の米作り用具 1,800点	
史跡・名勝 ・ 天然記念物	史跡	3 旧致道館、松ヶ岡開墾場、小国城跡	
	名勝	3 金峯山、酒井氏庭園、玉川寺庭園	
	特別天然記念物	1 羽黒山のスギ並木	
	天然記念物	8 熊野神社の大スギ、文下のケヤキ、南谷のカスミザクラ、羽黒山の爺スギ、山五十川の玉スギ、早田のオハツキイチョウ、月山、三瀬気比神社社叢	
計		48	

②国登録（文化財保護法によるもの）

区 分		件 数	備 考
有形文化財	建 造 物	19	石名坂家住宅主屋・（同）蔵、 安良町公民館（旧鶴岡警察署大山分署）、 風間家旧宅（丙申堂）表門・（同）西側板塀、 旧鶴岡町消防組第八部消防ポンプ庫、 風間家旧別邸無量光苑釈迦堂・（同）土蔵・ （同）表門・（同）中門・（同）北門・（同）板塀、 善寶寺龍王殿・（同）五百羅漢堂・（同）龍華庵・ （同）五重塔・（同）山門・（同）総門、 旧小池薬局恵比寿屋本店
計		19	

③県指定（県文化財保護条例によるもの）

④市指定（市文化財保護条例によるもの）

区 分			件 数	区 分			件 数
有形文化財	建造物		7	有形文化財	建造物		11
	絵画		5		絵画		30
	彫刻		12		彫刻		62
	工芸品		33		工芸品		52
	書跡		5		書跡		29
	典籍		3		典籍		3
					古文書		41
	考古資料		8		考古資料		14
	歴史資料		6		歴史資料		46
民俗文化財	無形民俗文化財		3	民俗文化財	無形民俗文化財		8
	有形民俗文化財		3		有形民俗文化財		15
史跡・名勝・天然 記念物	史跡		6	史跡・名勝・天然 記念物	史跡		23
	名勝		1				
	天然記念物		10		天然記念物		26
計			102	計			360

(2) 民俗芸能

市内の多くの地域で地元の人たちが守り伝えてきた民俗芸能があります。櫛引地域の黒川能や温海地域の山五十川歌舞伎など文化財の指定を受け広く知られた芸能のほかにも、獅子舞や神楽など様々な内容の民俗文化財が各地に伝えられています。

平成30年度、教育委員会では市内の民俗文化財の状況を調査するため、各団体に調査表を送付し、活動状況や保存・継承活動についての意見・要望をお聞きしています。調査結果からは後継者や活動資金の不足が課題となりながらも、解決に向けて子どもへの伝承機会を設けたり、財源確保の方法を探ったりするなど、前向きな回答も多く得ることができました。今後も市内の民俗芸能関係者の課題の共有や情報交換の場、発表の場の機会創出など、保存継承に向けた取り組みを進めていく予定です。

	件数	分類(重複あり)					
		神事	神楽	田楽	風流	延年・おこない	渡来芸・舞台芸
鶴岡	39	4	31		5		
藤島	10	2	3		6		
羽黒	13	7	8	1	1	1	
櫛引	14		10		2		1
朝日	8		7		2	1	
温海	32	6	19		5		3
合計	116	19	78	1	21	2	4

(3) 伝統的な地域資源

本市では学問を大切に作る心や、華やかに目立つより内なる力を充実させる生き方が大切にされてきました。これらは独自の精神文化と捉えることができます。加えて数多くの伝統行事や、まちなみが各地で継承されています。また、しな織やシルク、竹塗など伝統的な素材や技法を活用した産業もあります。気候風土や伝統行事に根差した独自の食文化は、ユネスコ食文化創造都市ネットワークに加盟するなど注目が集まっています。



鶴岡市の歴史・文化資源の現状

- ◇文化財の指定を受け保存・活用が図られる建物などは、観光資源としても活用されている。
- ◇民俗芸能は市内各地に多様な芸能が継承されているが、保存や継承に課題を抱える団体も多い。
- ◇独自の精神文化や、伝統的な行事や技法、まちなみ、食文化が伝承されている。

計画の中での方向性

- ◆文化財や古くから守り伝えてきた行事などの新たな活用を検討したい。
- ◆伝統的な地域資源の保存と活用を考えたい。
- 基本方針1 伝統的な文化芸術の継承と活用に努めます
- 基本方針3 文化芸術の根づいた活力ある社会をつくります

2 活動する人・参加する人の声と計画への反映

グループトーク「つるおか文化部ミーティング ○○編」

鶴岡市計画の策定に向けて、関係の深い団体の皆さんに集まっていただき、自由に話し合う「つるおか文化部ミーティング○○編」を実施しました。活動を続けていく時の課題や、これからどのような活動をしていきたいか、地域性や団体ごとの特徴も踏まえた意見がたくさん出ています。



◆グループトーク「つるおか文化部ミーティング○○編」

実施団体	日時	会場	参加者数
つるおか文化部ミーティング(一般向け)	7/31 夕方	鶴岡アート F	13
羽黒芸術文化協会	9/16(火)午後	羽黒庁舎	12
榎引芸術文化協会	10/17(木)午後	榎引生涯学習 C	8
中央公民館サークル運営委員会	11/1(金)夜	中央公民館	7
朝日芸術文化協会	12/4(水)夜	朝日すまいる	6
鶴岡市芸術文化協会	12/6(金)午後	鶴岡アート F	24
高校生文化部(1回目)	12/6(金)午後	鶴岡アート F	4
藤島芸術文化協会	12/17(火)午後	藤島地域活動 C	19
高校生文化部(2回目)	12/20(金)午後	鶴岡アート F	19
東北公益文科大学大学院	1/6(月)夜	公文大大学院	7
音楽関係者	1/16(木)夜	鶴岡アート F	15
温海芸術文化協会	1/19(日)午前	温海庁舎	20
(延べ人数)			154

文化芸術活動についてのアンケート

市内の文化施設、各庁舎で開催される公演や展示への参加者に文化・芸術活動についてのアンケートを実施しました。

アンケートは「つるおか文化部ミーティング」の参加者にも会場で記入をお願いしたほか、地域性や対象となる年代や団体、公演や展示の特性をみながら実施しています。

◆アンケート実施状況

実施団体	会場	内容	実施日	回収数
羽黒芸術文化協会	羽黒庁舎	グループトーク	9/17	1 2
あつみ作品展	温海ふれセン	展示	9/20-9/23	1 9
中央公民館文化祭	中央公民館	展示・公演	9/27-9/29	8 4
立川談春 独演会	タクト	公演 (落語)	9/28	2 7 3
小学校音楽交流会 (小五保護者)	タクト	公演	10/9-10/11	6 2 1
障害者アート展「ひょうげんの花」	アート F	展示	10/3-10/14	4 7
櫛引芸術文化協会	櫛引庁舎	グループトーク	10/16	8
劇団四季公演「エビータ」	タクト	公演	10/26	2 3 8
ふじしま文化祭	藤島地域	展示・公演	10/25-10/27	3 7
中央公民館サークル運営協議会	中央公民館	グループトーク	11/1	7
はぐろ秋まつり	羽黒地域	展示・公演	11/2-11/4	5 1
あさひ産業文化まつり	朝日地域	展示・公演	11/3	3 5
あつみ文化祭	温海地域	展示・公演	11/3	4 7
県美展	アート F	展示	11/13-11/18	1 0 7
山大農学部「地域を知る講座」	山形大学	-----	11/21	4 3
朝日芸術文化協会	朝日地域	グループトーク	12/4	6
芸術文化協会 芸術委員会	アート F	グループトーク	12/6	2 4
高校文化部 (高校生)	-----	-----	12 月中	1 8 6
高校文化部 顧問の先生	-----	-----	12 月中	1 6
きかんしゃトーマスコンサート	タクト	公演	12/8	1 1 0
民俗芸能交流発表会	中央公民館	公演	12/8	1 2 4
藤島芸術文化協会	藤島地域活動 C	グループトーク	12/17	1 9
公益文科大学大学院	大学院	グループトーク	1/6	7
音楽関係者	アート F.	グループトーク	1/16	1 5
櫛引芸文「新春のつどい」	櫛引生涯学習 C	展示・公演	1/18	4 5
温海芸術文化協会	温海ふれセン	グループトーク	1/19	2 0
図書館登録団体	図書館	-----	随時実施	3 8
文化施設学芸担当者	各施設	-----	随時実施	1 1

令和2年3月30日現在集計

2,250

グループトーク・アンケート
主な意見のまとめ

既存団体の活動が停滞している

- 既存団体は高齢化し、若い人や新しい人を取り込むことも難しく活動が目に見えて先細りになっている。
- 若い人にとって既存団体の活動は敷居が高く、出入り自由で気軽に活動できることを求めている。
 - ・若い人は友達同士のつながりを基にした気軽に活動できる場所を求めている
 - ・年代で活動内容が合わないことや上達に時間のかかる技能は若い人を取り込めない

子どもたちと担い手を育てたい

- 出向いて教え、一流のものに触れさせ、切れ目なく活動を支援したい。
 - ・子供たちの情緒の形成や続けたいことに出会えるよう家でも学校でも気軽に一流の文化や芸術を体験させたい。
 - ・学校だけでなく色々な場所に技能をもつ大人が出向いた子供たちに教える仕組みを考えたい
 - ・子供から大人まで切れ目なく活動を支え、身に着けた技能を活用できるようにしたい。
 - ・年代や所属を超えて実施するイベントは好評なので、活動は別々でもこれからも楽しく交流したい。

地域独自の文化資源の伝承と活用

- 文化財や地域資源は担い手の伝承していく心構えを大事にしながら、時代や人にあわせて活用し発信できるといい。
 - ・様々な課題を乗り越え長く続けてきた行事は伝承していく人たちの心構えに頭が下がるし、これからも続けて成し遂げていくことが大事だ。
 - ・文化財や地域資源の担い手にとって外部の人の認知や支援は励みになるので、城下町という特色に配慮しバランスをとりながら、情報発信や交流をしていきたい。
 - ・地域の豊かな文化を入りやすい切り口で時代に合わせて活用し伝え発信したい。

分野を超えた連携

- 既存の施設や活動を超えて活躍する動きもあり、まちづくりや産業との連携につなげたい。
 - ・人が集まる場所や逆に使われなくなった場所で現代美術やテーマを絞ったイベントをすると人が来ると思う。
 - ・写真やイラストは制作するだけでなく、活用して他の人と交流したり収益を上げて活動資金に回したりしたい。

文化施設の拠点化

- 文化施設は専門職員を育て、一流のアーティストを招き、地元の人が繰り返し利用する市民の文化芸術活動を支える拠点にしたい。
- ・学校や地域を巻き込んで一流アーティストを招いて地元のレベルアップを図るなど、文化施設は人が集まるイベントをして公演者にもまた来たいと思ってほしい。
- ・建物と事業のマッチングや他施設とのすみ分けも考えながら、地元のあらゆる人が繰り返し利用できる愛着が持てる施設になると、地元からも企画が出てくる。

施設の使い勝手

- 全市的に横のつながりをよくして、活動内容に合った施設の活用を考えたい。
- ・活動場所、練習場所の確保は内容によって異なるが使いやすい場所を求めている
- ・コミセン等の利用条件を改善しないとサークル活動は高齢化していく。
- ・発表用のホールやギャラリーの使い勝手をよくしてほしい。
- ・和風の文化施設の整備を望む声があるが、今ある施設の活用も考えていきたい。

移動手段の確保

- 学生や高齢者、障害者向けに一時的でも移動手段を確保することで、参加や交流の機会が広がる。
- ・バスツアーなどで一時的に移動手段を確保することで、地域間の交流や交通弱者の方の参加の機会につながる。
- ・学生も地域も学生たちの今以上の活動の機会を求めているが、移動手段など学校としての対応は難しそうだ。
- ・交通弱者向けに利用しやすい交通手段があるといい。
- ・駐車場が不足している。

あらゆる人に向けた二つの情報発信

- 参加や活動を促すため、あらゆる人に向け多様で効果的な情報提供が必要だ。
- 鶴岡独自の文化資源や市民の活動の成果を広く発信していくことが、鶴岡の文化のすごさをPRし、がんばっている人を応援することになる。

鶴岡の文化芸術活動に必要なこと

- 自由な表現を追求できる
- 市だけでなく、当事者・関係者と課題を共有し芸術文化を発信していく
- 失敗しても再挑戦できる環境

アンケートのまとめ

◎アンケートまとめ(一般向け設問)

期間：9月～1月 回収数2,012人 (2/8現在集計)

①-1 性別

男	女	不明	合計
565	1,253	194	2,012

①-2 年代

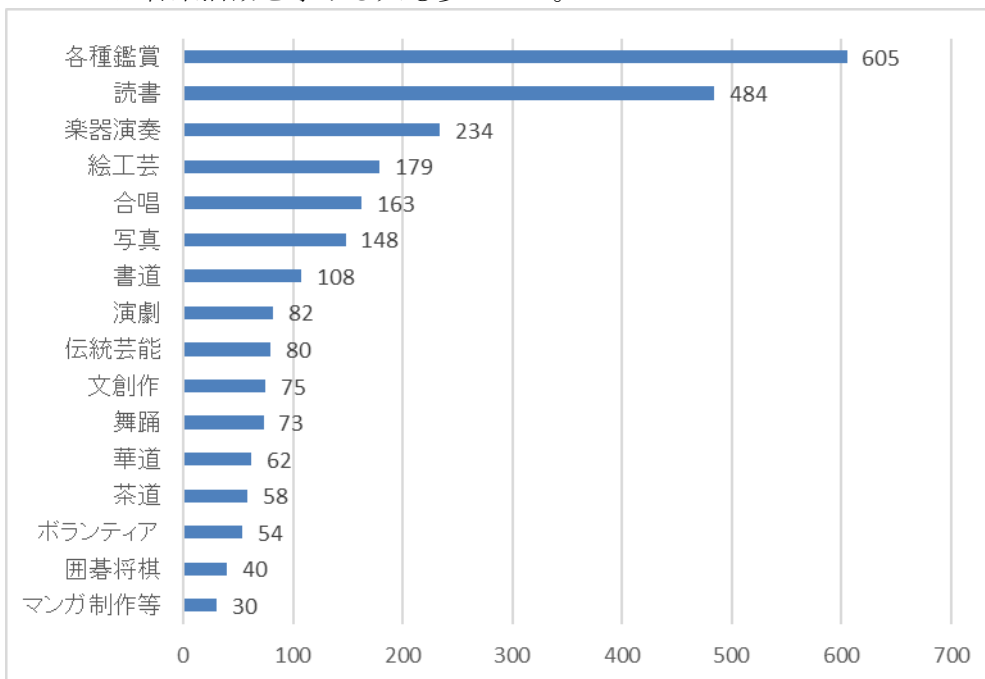
10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代～	不明	合計
51	67	307	442	266	433	311	90	45	2,012

①-3 居住地

鶴岡	藤島	羽黒	櫛引	朝日	温海	県内	県外	不明	合計
1,091	139	135	116	64	120	112	8	227	2,012

①日頃親しんでいる文化芸術活動(複数回答)

各種鑑賞と読書が多く、取り組みやすい活動を挙げる人が多い。楽器演奏や合唱といった音楽活動を挙げる人も多かった。



②文化芸術活動を行う時の課題（無回答を除いて集計）

(1)時間がなくて活動できない

そう思う	499
ある程度思う	419
どちらともいえない	220
あまり思わない	267
全く思わない	117

(2)場所の確保が難しい

そう思う	244
ある程度思う	286
どちらともいえない	289
あまり思わない	278
全く思わない	182

(3)仲間を集めるのが大変だ

そう思う	276
ある程度思う	309
どちらともいえない	362
あまり思わない	266
全く思わない	224

(4)公演や講座の情報を集

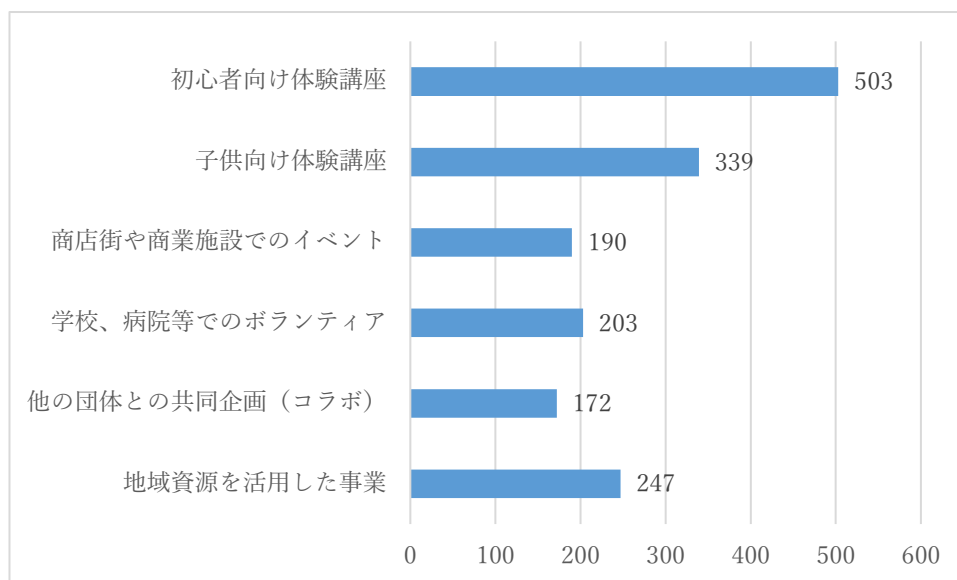
めるのが難しい

そう思う	242
ある程度思う	356
どちらともいえない	351
あまり思わない	318
全く思わない	161

(5)施設利用で不便なことが多い

そう思う	146
ある程度思う	173
どちらともいえない	371
あまり思わない	330
全く思わない	172

③自身の文化芸術活動を活用してやってみたいこと（複数回答・無回答を除いて集計）



④鶴岡市の文化と芸術の特徴について感じる事（無回答を除いて集計）

(1)気軽に鑑賞できる

そう思う	346
ある程度思う	549
どちらともいえない	294
あまり思わない	183
全く思わない	29

(2)子供の頃から文化芸術に親しめる

そう思う	330
ある程度思う	698
どちらともいえない	407
あまり思わない	190
全く思わない	30

(3)大人になってから

趣味や習い事に気軽に親しめる

そう思う	244
ある程度思う	487
どちらともいえない	565
あまり思わない	281
全く思わない	43

(4)合唱や楽器演奏など音楽が盛んなまちだ

そう思う	342
ある程度思う	635
どちらともいえない	475
あまり思わない	206
全く思わない	38

(5)歴史ある芸術祭や書道展、美術展がある

そう思う	359
ある程度思う	718
どちらともいえない	414
あまり思わない	171
全く思わない	26

(6)公演や展示、練習できる施設が
充実している

そう思う	227
ある程度思う	544
どちらともいえない	566
あまり思わない	274
全く思わない	38

(7)食文化が豊かだ

そう思う	771
ある程度思う	650
どちらともいえない	204
あまり思わない	88
全く思わない	11

(8)文化財や伝統芸能が大切に守られている

そう思う	587
ある程度思う	841
どちらともいえない	232
あまり思わない	58
全く思わない	7

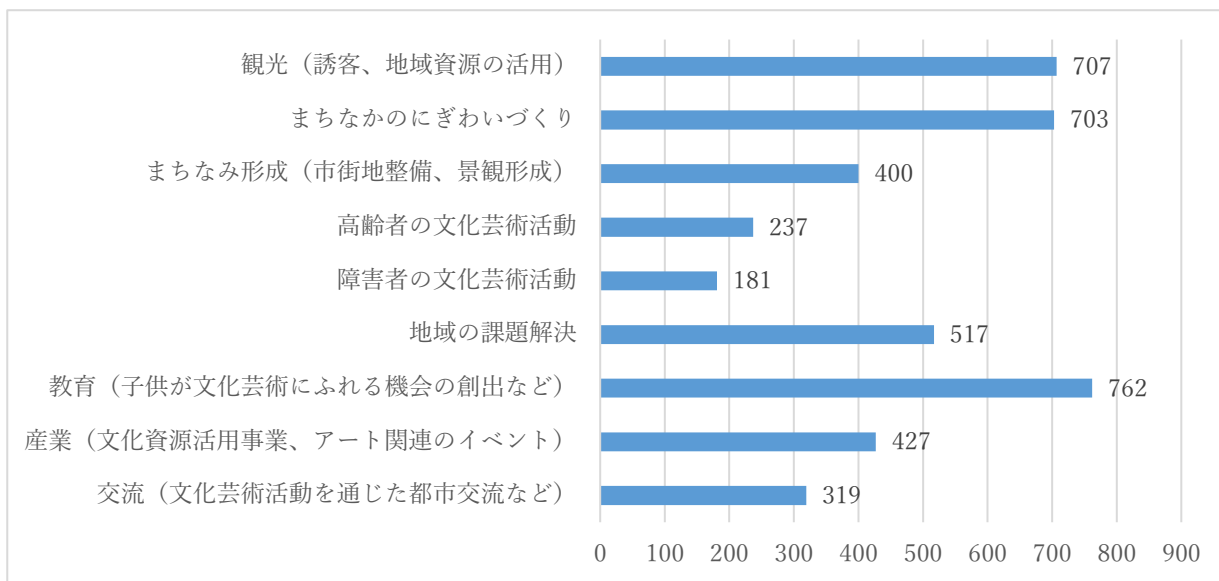
(9)歴史的なまちなみや建物が
大切に守られている

そう思う	434
ある程度思う	810
どちらともいえない	336
あまり思わない	99
全く思わない	19

(10)著名な作家や芸術家を輩出している

そう思う	297
ある程度思う	570
どちらともいえない	410
あまり思わない	121
全く思わない	27

⑤鶴岡市の文化芸術を他の分野で活かしてほしいと思う項目（複数回答）



基本方針と方向性への反映

グループトーク・アンケートの主な意見を次のように計画に反映させます。また、その他の項目を、検討課題としてまとめました。

将来像

「文化芸術のちからで心豊かな鶴岡の未来を拓きます」

基本方針	計画の方向性	基本方針・方向性に反映した ○グループトーク □アンケートの主な意見
継承と活用に努めます 伝統的な文化芸術の	1 地域独自の文化資源の保存と活用	○文化財や地域資源の担い手にとって外部の人の認知や支援は励みになるので、城下町という特色に配慮しバランスをとりながら、情報発信や交流をしていきたい。 ○地域の豊かな文化を入りやすい切り口で時代に合わせて活用し伝え発信したい。 □歴史的なまちなみや建物が大切にされていると感じる人が多い。 □食文化が豊かだと感じる人が多い。 □文化財や伝統芸能が大切に守られていると感じる人が多い。
	2 伝統的な地域資源の継承と活用の推進	
多様な文化芸術の創造と発展を目指します	1 文化芸術を支える仕組みづくり	○文化施設は専門職員を育て、学校や地域を巻き込んで一流アーティストを招いて地元のレベルアップを図るなど、地元の人が繰り返し利用する市民の文化芸術活動を支える拠点にしたい。 ○全市的に横のつながりをよくして、活動内容に合った施設の活用を考えたい。 ○既存団体は高齢化し、若い人や新しい人を取り込むことも難しく活動が先細りになっている。 ○若い人には既存団体の活動は敷居が高く、出入り自由で気軽に活動できることを求めている。 ○あらゆる人に向けた参加と活動、そして成果の情報発信が必要だ。 ○子供から大人まで切れ目なく活動を支え、身に着けた技能を活用できるようにしたい。 ○年代や所属を超えて実施するイベントは好評なので、活動は別々でもこれからも実施したい。 □活動をしたいけど時間がない、場所がない、仲間がいないと感じる人が多い。 □初心者や子供たちに教えたいと思う人が多い。
	2 文化芸術活動の推進	

基本方針	計画の方向性	基本方針・方向性に反映した ○グループトーク □アンケートの主な意見
文化芸術の根づいた活力ある社会をつくります	1 子育てと教育への活用	<p>○子供たちに出向いて教え、一流のものに触れさせ、切れ目なく活動を支援したい。</p> <p>○子供たちの情緒の形成や続けたいことに出会えるよう家でも学校でも気軽に一流の文化や芸術を体験させたい。</p> <p>○学校だけでなく色々な場所に技能をもつ大人が出向いた子供たちに教える仕組みを考えたい。</p> <p>□初心者や子供たちに教えたいと思う人が多い。</p>
	2 共生社会の推進	<p>○高齢者や障害者、学生向けに一時的でも移動手段を確保することで、参加や交流の機会が広がる。</p> <p>○障害者の自己表現の場が増えるといい。</p>
	3 観光と交流への活用	<p>○文化財や地域資源の担い手にとって外部の人の認知や支援は励みになるので、城下町という特色に配慮しバランスをとりながら、情報発信や交流をしていきたい。</p> <p>□文化芸術を観光に活用したいという意見が多い。</p>
	4 産業への活用	<p>○既存の施設や活動を超えて活躍する動きもあり、まちづくりや産業との連携につなげたい。</p> <p>○人が集まる場所や逆に使われなくなった場所で現代美術やテーマを絞ったイベントをすると人が来ると思う。</p>
	5 地域社会への貢献	<p>○写真やイラストは制作するだけでなく、活用して他の人と交流したり収益を上げて活動資金に回したりしたい。</p>

検討課題 1

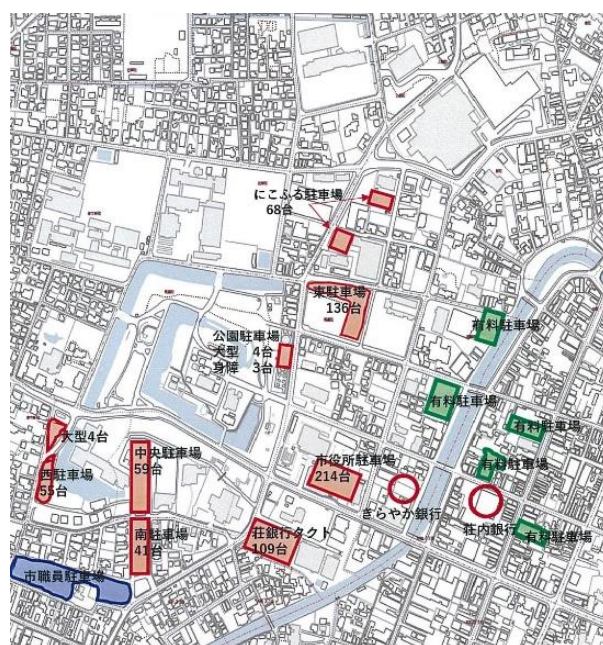
駐車場の活用

令和元年度、荘銀タクト鶴岡での公演やイベントの参加者に行ったアンケートでは、市街地中心部の駐車場が不足しているといった意見が多くありました。多くの人が訪れる舞台公演の開催時には、タクトや市役所の駐車場が満車になり、秋の芸術祭のシーズンには、アートフォーラムなどの催しも重なることから、駐車場不足を実感する方が多く見受けられたのだと考えられます。

下記の図は、市役所周辺の公共駐車場（無料で休日と夜間は自由に利用可能）の配置と収容台数、及び民間の有料駐車場等の配置を示したものです。

【 中心市街地公設駐車場 概要 】

荘銀タクト鶴岡駐車場	153 台
市役所駐車場	195 台
鶴岡公園中央駐車場	59 台
鶴岡公園南駐車場	41 台
鶴岡公園西駐車場	55 台
東駐車場（にこふる前）	136 台
にこふる駐車場	68 台
公共駐車場収容台数合計	707 台



中心市街地には、休日と夜間は自由に利用できる公共駐車場の収容台数は約 700 台で、タクトの座席数は 1,120 席です。仮に 1 台に複数の人が乗車してタクトに来る場合には、駐車場は充足する計算になりますし、ほかに民間の有料駐車場を利用することもできます。

しかしながら、市内では自家用車が主な移動手段の中で、ドア to ドア感覚を標準として持っており、公共駐車場等が分散していることから、イベント・舞台公演等の際、目的施設の直近の駐車場だけが満車となっていることで、駐車場不足の声が挙がることも考えられます。

タクトでの大規模な舞台公演等の際には、近隣施設の催しを把握し日程・時間の調整をするなどの連携を図り、近隣の方へ徒歩や自転車の利用、自家用車の乗り合いの呼びかけ、主催者には誘導員による各駐車場への案内、大規模駐車場からのバス等によるピストン送迎などの対策を講じることで、駐車場不足を実感される方を減らすことができると考えられます。

検討課題2

施設の利活用

茶道など「和」の文化芸術活動を行っている方たちから、専用施設の整備を希望する声が寄せられています。広い畳敷きの場所があり、練習場所や発表の場所としての利用することができ、中心市街地に整備し駐車場も併設できれば市街地の活性化につながるという意見もありました。

今回の計画策定ではアートフォーラムを展示系の活動の拠点として、荘銀タクト鶴岡を舞台系活動の拠点と位置付けていく予定です。「和」の文化芸術活動に特化した施設の整備を計画に盛り込むことは困難な状況です。

これまで、「和」の文化芸術活動団体の皆様からは芸術祭等では次のように市内の各施設を活用いただいております。今回の計画には、市内の施設を今まで以上に活用していく方針を盛り込むほか、歴史的な建物や民間の施設などの活用のご相談にも対応していく予定です。特に、中心市街地に点在する歴史的な建物や民間の施設などを活用していただくことで、駐車場も今あるものを活用することができ、まちの中に人の流れが生まれ、まちなかにぎわいをつくることのできるのではと考えています。

令和元年度 鶴岡市芸術祭参加団体（茶道・華道・邦楽邦舞等） 公演実績

期日	団体名	会場	入場者数
9/15	第50回錦心流琵琶鶴岡支部演奏会	中央公民館	330
9/22	第55回「さざ波会 民謡と舞踊のつどい」	中央公民館	350
10/6	表千家流茶会	致道館	281
10/6	遠州流茶会	アートフォーラム	223
10/6	大正琴・文化箏愛好会 山琴箏会 第31回公演	中央公民館	250
10/13	裏千家 秋の茶会	出羽庄内国際村	250
10/19- 10/20	第56回各流派合同いけばな展	アートフォーラム	2,626
10/20	八沢会 唄と踊りのつどい	中央公民館	700
10/20	日本九重流朝暘清吟会 第140回大会	鶴岡第一ホテル	235
10/27	日本九重流鶴城清吟会 第43回大会	中央公民館	350
11/24	宝生流 観世流合同謡曲大会	第一学区コミセン	40
11/24	鶴岡剣聖会「剣と扇の舞」	荘銀本店ホール	330

